

安全データシート (SDS)

A-97151-00289JA/01

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称 イオン交換樹脂
 製品コード A98L-0001-0988
 供給者の会社名 ファナック株式会社
 住所 山梨県南都留郡忍野村忍草3580
 電話番号 0555-84-5555
 ファックス番号 0555-84-5512 (HPで公開、総務部)
 電子メールアドレス <https://www.fanuc.co.jp>
 推奨用途及び使用上の制限 イオン交換樹脂

2. 危険有害性の要約

GHS分類
 物理化学的危険性 分類できない
 健康に対する有害性
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
 環境に対する有害性 分類できない
 GHSラベル要素
 絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語 警告
 危険有害性情報 強い眼刺激
 安全対策 取扱い後は手をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 応急措置 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 他の危険有害性 知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 エチルスチレンスチレンジビニルベンゼン共重合体のスルホン化物の含水物と
 エチルスチレンスチレンジビニルベンゼン共重合体のクロロメチル化物と
 トリメチルアミンの反応生成物 (OH形) の含水物の混合物成分

組成物質名	CAS登録番号	化管法指定化学物質の種別	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
エチルスチレンスチレンジビニルベンゼン共重合体のスルホン化物	69011-20-7	-	6-3208	9-2228	10~20%
エチルスチレンスチレンジビニルベンゼン共重合体のクロロメチル化物とトリメチルアミンの反応生成物(OH形)	69011-18-3	-	6-3153	9-2224	10~40%
水 (精製水)	7732-18-5	-	-	-	40~80%

4. 応急措置

一般的アドバイス 危険域から避難させる。この安全データシートを担当医に見せる。被災者を一人にしない。
 吸入した場合 意識のない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合	蒸気または分解生成物を誤って吸引した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体制で休息させる。気分が悪いときは、医師に連絡すること直ちに付着物を除去する。大量の水または石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。☐
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	気道を確保する。ミルクやアルコール飲料を与えない。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。症状が持続する場合は、医師に連絡する。飲み込んだ場合、医療従事者の指示がない限り無理に吐かせない。安静にする。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	強い刺激臭。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	暴露の危険がある時は、個人用防護具に関する第8章を参照すること。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行う。換気を行うこと。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	現地の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。火災の場合、消火のため水／ウォータースプレー／ウォータージェット／炭酸ガス／砂／泡消火剤／耐アルコール泡消火剤／化学粉末消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	大型棒状の氷
火災時の特有の危険有害性	火災による有害ガス発生の恐れ
特有の消火方法	化学物質の火災に対する標準手順
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、必要に応じて自給式子L級装置を装着する。保護具を使用する。☐
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護具を使用する。粉塵の発生を避ける。粉塵を吸い込まないように留意。球状粒子であり、踏むと滑りやすい。転倒に注意する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。漏出物を掃き集めて密閉式の容器に回収する。掃いてシャベルですくいとる。すくい取るか掃き集める。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	水或いは溶媒との接触により、分解生成物が極微量、液中に放出されることがあるので、用途に応じて適用関係法令等を参照の上、使用すること。汚染表面は非常に滑りやすくなる。流出物は直ちに除去する。転倒に注意する。
局所換気、全体換気、火災及び爆発の予防	使用中は、適当な換気に心がける。粉塵の発生を避ける。粉塵の発生する場所では、換気を適切に行う。
安全取扱い注意事項	吸入性粉塵が発生しないよう留意する。蒸気／粉塵を吸い込まない。皮膚や眼への接触を避けること。個人保護については項目8を参照する。保護エリアでは喫煙、飲食は禁止する。洗浄水は、国および地方自治体の規制に従い処分する。使用しない場合は容器を閉めておく。
接触回避	硝酸、酸化剤
衛生対策	使用中は飲食しないこと。使用中は禁煙。休憩前や終業時には手を洗う。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、乾燥した喚起の良い場所に保管する。電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。直射日光を避ける。酸化性のものと共に保管しない。凍結禁止。推奨保管温度以上では劣化しやすい。使用しない場合は容器を閉めておく。
推奨された保管温度	0℃以上 40℃未満
保管安定性に関する詳しい情報	通常の状態では安定。凍結禁止。推奨保管温度以外では劣化しやすい。
安全な容器包装材料	適した材質：ポリエチレン製袋
8. ばく露防止及び保護措置	

管理濃度	
許容濃度	許容濃度が設定されている物質を有していない。
日本産衛学会	-
ACGIH	-
保護具	
呼吸用保護具	粉塵及びエアゾール形成の場合は、適したフィルターの付いた呼吸器を使用する。
手の保護具	耐溶剤手袋
備考	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材料の手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	純水入りの眼洗浄ボトル、密着性の高い安全ゴーグル、保護眼鏡 作業中に異常が起きた際は、保護面、保護服を着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。 作業者は、静電気防止履物をはく。化学品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
物理状態	固体
色	淡黄色もしくは褐色
臭い	アミン臭を呈することがある
融点凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	製品：データなし 成分：エチルスチレンスチレンジニルベンゼン共重合体のスルホン化物 約580℃ 成分：エチルスチレンスチレンジニルベンゼン共重合体のクロロメチル化物とトリメチルアミンの反応生成物（OH型） 約400℃ 情報は参考資料および文献を参照した。
分解温度	製品：データなし 分解温度：エチルスチレンスチレンジニルベンゼン共重合体のクロロメチル化物とトリメチルアミンの反応生成物（OH型） 約120℃ 分解温度：エチルスチレンスチレンジニルベンゼン共重合体のスルホン化物 約270℃ 情報は参考資料および文献を参照した。
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
水に対する溶解度	不溶
溶媒に対する溶解度	不溶
n-オクタノール／水分配係数（log値）	情報なし
蒸気圧	製品：データなし 成分：水 2310Pa 情報は参考資料および文献を参照した。
密度及び／又は相対密度	製品：データなし 成分：エチルスチレンスチレンジニルベンゼン共重合体のスルホン化物 約0.8（25℃）見掛け密度 情報は参考資料および文献を参照した。 成分：エチルスチレンスチレンジニルベンゼン共重合体のクロロメチル化物とトリメチルアミンの反応生成物（OH型） 約0.7（25℃）見掛け密度 情報は参考資料および文献を参照した。
比重	
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	
粒子サイズ	約>0.1mm <2mm

10. 安定性及び反応性

反応性	塩を含む水溶液と接触すると、イオン交換により酸、及びアルカリを生成する。推奨保管下では安定。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	空気中での加熱乾燥により発火のおそれ。 硝酸等の酸化剤及び硝酸塩との混合接触により火災又は爆発のおそれ。通常の状態では安定。

避けるべき条件	熱、炎、火花。長時間にわたる直射日光。推奨保管温度より高い温度。
混触危険物質	水又は溶媒との接触により次の物質を放出することがある： N(CH ₃) ₃ 、CH ₃ OH、(C ₈ H ₇ SO ₃ H) _n 、H ₂ SO ₄ 、C ₆ H ₅ COOH、C ₆ H ₅ CHO、HCHOなど
危険有害な分解生成物	窒素酸化物（NO _x ）、硫酸酸化物
1 1. 有害性情報	
急性毒性（経口）	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
急性毒性（経皮）	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
急性毒性（吸入：気体）	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
急性毒性（吸入：蒸気）	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
皮膚腐食性／刺激性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。 製品：備考 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	強い眼刺激 製品：結果 眼への刺激
呼吸器感作性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
皮膚感作性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
生殖細胞変異原性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
発がん性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
生殖毒性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
生殖毒性授乳影響	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
誤えん有害性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
1 2. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性（短期/急性）	情報なし
水生環境有害性（長期/慢性）	情報なし
残留性分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	非該当
他の有害影響	
生態系に関する追加情報	海洋生物や鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。
1 3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄物を下水へ排出してはならない。薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 認可された産業廃棄物業者へ委託する。認可された産業廃棄物施設で廃棄物を処理する。 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
汚染容器及び包装	地方自治体の規制および「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）」に従って、廃棄する。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。製品入りの容器と同様に処分する。 空の容器を再利用しない。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた産業廃棄物業者に委託する。
1 4. 輸送上の注意	
	※必要事項を記載してください。
国際規制	
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	-
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	-
副次危険	-
容器等級	-
海洋汚染物質	-
MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み	供給された状態の製品には非該当。
輸送される液体物質	
その他の安全対策	

国内規制	国の特定の法規制は、項目 1 5 を参照する。
海上規制情報	
船舶安全法・危規則	危険物として規制されない。
航空規制情報	
航空法・施行規則	危険物として規制されない。
陸上規制情報	
特別な安全上の対策	非該当
1 5. 適用法令	
労働安全衛生法	
製造等が禁止される有害物	非該当
製造の許可を受けるべき有害物	非該当
健康障害防止指針公表物質	非該当
変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）	非該当
変異原性の認められた化学物質（新規届け出化学物質）	非該当
名称等を通知すべき危険物及び有機物	非該当
名称等を表示すべき危険物及び有機物	非該当
特定化学物質障害予防規則	非該当
鉛中毒予防規則	非該当
四アルキル鉛中毒予防規則	非該当
有機溶剤中毒予防規則	非該当
労働安全衛生施行令－別表第一（危険物）	非該当
火薬類取締役法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働基準法	非該当
化審法	特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
消防法	危険物、指定可燃物に該当しない。
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
水道法	非該当
下水道法	非該当
海洋汚染防止法	
ばら積み輸送	有害液体物質には該当しない。
個品輸送	海洋汚染物質には該当しない。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物
1 6. その他の情報	
引用文献	[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。
免責	記載内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものではありません。 また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせた使用に関して有効ではありません。